

羅臼岳の火山活動解説資料（令和元年7月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 火口や噴気の状況（図1、図2）

29日に上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）を実施しました。一部に雲がかかっていましたが、確認できる範囲で噴気等の異常は認められず、前回の観測（2018年7月）と比べて特段の変化はありませんでした。



図1 羅臼岳 周辺図と写真の撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は、札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平29情復、第958号）。

2019年7月29日12時58分
国土交通省北海道開発局の協力による



2018年7月30日13時50分
国土交通省北海道開発局の協力による



図2 羅臼岳 南東側斜面の状況

上段：東側（図1の①）から撮影

下段：南東側（図1の②）から撮影

- ・噴気は認められず、前回の観測（2018年7月）と比べて特段の変化はありませんでした。